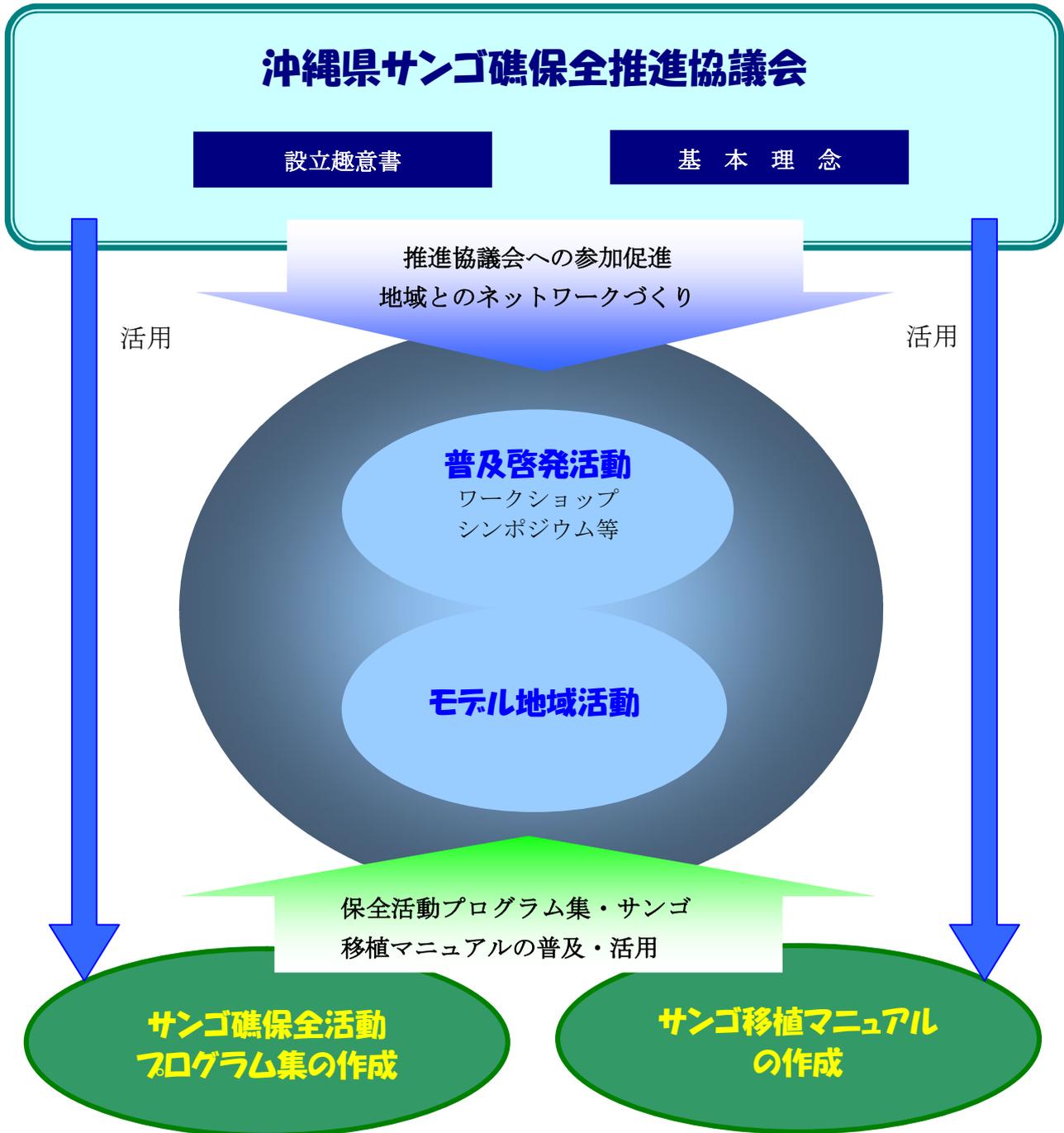


## 民間参加型サンゴ礁生態系保全活動推進事業の概要

沖縄県の豊かな自然環境及び生活文化の基盤として、生物多様性の保全、漁業資源・観光資源として重要なサンゴ礁を保全・再生していくために、官民協働のサンゴ礁保全・再生推進体制を構築することを目指して、事業を実施しています。

【事業概要のイメージ】



会長  
土屋 誠様

沖縄県文化環境部  
部長 知念 建次



沖縄県サンゴ礁保全推進協議会設立会合への参加について (案内)

本県の自然保護行政の推進につきましては、日頃から御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、沖縄県では、本県の豊かな自然環境や生活文化の基盤として、生物多様性の保全、漁業資源・観光資源として重要な価値を有しているサンゴ礁を保全するために、地域住民、漁業者、観光業者、農業者、県内外の企業、教育関係者、研究者、NPO、行政機関等の様々な主体が参加する官民協働のサンゴ礁保全推進体制を構築することを目的として、「民間参加型サンゴ礁生態系保全活動推進事業」を実施しており、(仮称)沖縄県サンゴ礁保全・再生推進協議会設立準備会合を立ちあげ、「沖縄県サンゴ礁保全推進協議会」設立準備を進めてきました。

つきましては、別添設立趣意書及び基本理念に基づき、沖縄県サンゴ礁保全推進協議会設立会合を平成20年6月28日(土)に開催しますので、是非とも当協議会の趣旨に御賛同いただき、御参加くださいますようお願いいたします。

参加のご意向につきましては、ご多忙の折大変恐縮ですが、下記によりお知らせいただきますようお願いいたします。

なお、具体的な開催案内は後日別途ご案内いたします。

記

1. 回答様式： 沖縄県サンゴ礁保全推進協議会参加意向確認票
2. 回答先： 財団法人沖縄県環境科学センター
3. 回答方法： ファックス又は電子メール
4. 回答期限： 平成20年6月16日(月)

以上

[お問い合わせ先]

財団法人沖縄県環境科学センター環境科学部  
担当：長田智史  
TEL：098-875-1941 FAX：098-875-5702  
E-mail：nagata-tomofumi@okikanka.or.jp

沖縄県文化環境部自然保護課自然保護班  
担当：宮良道子  
TEL：098-866-2243

## 沖縄県サンゴ礁保全推進協議会

### 設立趣意書

私たちが生活する沖縄の島々はサンゴ礁が基盤となってできています。台風が常襲する沖縄にとってサンゴ礁は、自然の防波堤としての重要な役割を果たしているだけでなく、熱帯雨林と並ぶ多種多様な生物の宝庫でもあり、私たちに漁業資源や観光資源など様々な恩恵をもたらしてくれます。

かつて沖縄では、島という限られた陸地とサンゴ礁を活用し、環境と調和のとれた半農半漁の生活が営まれていました。人々は多様性に富んだサンゴ礁とそれに続く広大な海に向き合い、海を敬い親しむ風土を古くから継承しながら、ニライ・カナイ信仰とそれにまつわる儀式や浜下りなどの行事にみられる民俗や特色ある芸術、さらには歴史的遺産にいたるまで、沖縄独自の文化を創りあげてきました。しかしながら、その様相は近年になって急激に変化しています。

1972年に本土復帰を果たした沖縄では、米軍基地問題を先送りしたまま「本土並み」を合い言葉に、数次にわたる沖縄振興計画に基づいた諸分野の産業振興策が進められ、都市基盤、医療・福祉、教育等の環境が着実に整備されました。

その中でサンゴ礁は、新たな経済産業基盤として脚光を浴びる観光分野での重要な社会資産となります。しかし一方で、商業メディアに求められる「青い海、白い砂浜」という単調なイメージ広告が繰り返し展開された結果、県民自身も自ら求めた経済発展の影で多様な伝統的価値観を失い、現実感の伴わない画一化されたイメージだけが浸透していきました。このようにして、サンゴ礁の実態を深く知る機会を失ってしまいました。

さらに、私たちの暮らし方、いわゆる開発、農業・観光・漁業などの諸産業の活動が、直接間接にサンゴ礁生態系の破壊と疲弊を引き起こしています。永い年月をかけて形成された貴重なサンゴ礁は次々に埋め立てなどにより消失しました。幸いにして残ったサンゴ礁も、止まらない赤土や汚水の流出、オニヒトデの大発生、サンゴの病気に加えて、過剰利用によってサンゴ礁の持つ優れた資源的価値を損ない、その存続が危ぶまれています。

これらに加えて、頻発する白化現象など、地球規模の気候変動による海水温の上昇や海洋酸性化は、サンゴ礁にも大きな影響を及ぼしつつあり、問題はより広域化・複雑化しています。世界的にも貴重な沖縄のサンゴ礁を健全な状態で次世代へ残すために、その保全に取り組むことが急務です。

2004年に沖縄で開催された国際サンゴ礁シンポジウムでの「沖縄宣言」や、2007年発効の海洋基本法を始めとする国内の法整備など、研究者や国によるサンゴ礁保全への取り組みが始まっています。沖縄においても、地域の自治体やNPOや企業による海岸清掃、オニヒトデ駆除、海の観察会、サンゴ群集再生の試み、観光業・漁業者による海域利用のルール作りなど、さまざまな活動が進められています。こうした活動を効果的に行いより良い結果を導くには、サンゴ礁を取り巻く自然・文化・社会・経済の特性や多様な価値観を十分理解したうえで、それぞれの活動を相互に連携させて持続的に進めていくことがとても大切です。

そのためには、持続可能なサンゴ礁の利用による地域づくりをすすめ、地域住民、漁業者、観光業者、農業者、県内外の企業、教育関係者、研究者、NPO、行政機関など、さまざまな人々を横断的に結びつける組織が必要です。そしてその組織を総合的で持続的に運営してゆくには、異なった立場にある多くの人々が、自由に情報や意見交換を行える場がつくられること、多様な参加と協力が行える仕組みを用意することも必要です。

このような組織を目指してここに「沖縄県サンゴ礁保全推進協議会」を設立します。

平成20年5月18日

(仮称)沖縄県サンゴ礁保全・再生推進協議会設立準備会合委員一同

上里幸秀	中野義勝
上田邦太郎	中谷誠治
浦崎 晃	中山恭子
岡地 賢	西平守孝
垣花武信	平井和也
鹿熊信一郎	平田春吉
梶原健次	宮城俊彦
後藤亜樹	安村茂樹
小林靖英	横井仁志
桜井国俊	吉田 稔
寺田麗子	(アイウエオ順)

# 沖縄県サンゴ礁保全推進協議会

## 基本理念

本協議会は、沖縄にとって真に持続可能な社会を形成するために、健全なサンゴ礁を次世代に残すことが不可欠であることを踏まえ、サンゴ礁の保全に取り組みます。

### 1 総合的なサンゴ礁保全の推進

海域にとどまらず、陸域を含めた総合的で持続的なサンゴ礁の保全活動を推進します。

### 2 多様な主体の連携

地域住民、漁業者、観光業者、農業者、県内外の企業、教育関係者、研究者、NPO、行政機関などのさまざまな主体と連携を深めながら、サンゴ礁の保全を横断的に推進します。

### 3 地域のサンゴ礁保全への支援

サンゴ礁の保全にかかわるさまざまな情報を収集し地域へ提供するとともに、地域からの要望や課題を共有し、その解決策を提案することなどにより、サンゴ礁の保全を支援します。

### 4 意見表明の自由の保証と協議会の中立性の確保

本協議会では、構成員の自由な意見表明を保証すると共に、協議会としては、特定の政治、思想、経済的利益にとらわれることなく、さまざまな利害や意見に対して中立かつ公平な姿勢でサンゴ礁の保全に取り組みます。

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会  
参加意向確認票

○ 次の設問にお答え下さい。(該当する部分に○を記入してください。)

1) 沖縄県サンゴ礁保全推進協議会の設立趣旨及び基本理念に賛同しますか。

(A)	賛同する	
(B)	どちらでもない	
(C)	賛同しない	
(D)	もっと詳しい説明が必要	

2) 沖縄県サンゴ礁保全推進協議会へ入会する意志はありますか？

(A)	入会したい	
(B)	今は判断できない	
(C)	入会したくない	

3) 上記の設問で(A)または(B)に回答された方(団体)へおたずねします。  
どの程度の検討期間があれば入会の判断が可能となりますか？

(A)	1週間から2週間程度	
(B)	1ヶ月から2ヶ月程度	
(C)	6ヶ月程度	
(D)	上記のいずれにも該当しない場合下記へ 程度要す	

4) 今年の6月28日(午後)に同協議会の設立に関する会を那覇市内で開催する  
場合、参加は可能でしょうか？

(A)	参加可能	
(B)	参加できない	
(C)	その他	

5) 同協議会への入会の判断にあたって、確認したい点がございましたら下記へご記入下さい。  
(例: 会費や入会金の有無、規約の内容等)

● 最後に下記にご記入下さい

- (1) あなたの所属団体名
- (2) あなたの所属する部署名
- (3) あなたの名前
- (4) 連絡先の電話番号/ファックス番号  
連絡可能なE-mail アドレス

問い合わせ先 沖縄県文化環境部自然保護課(担当:宮良道子 tel:098-866-2243,fax:098-866-2240)  
沖縄県環境科学センター(担当:長田智史 tel:098-875-1941,fax:098-875-5702)